

愛知東邦大学経営学部 准教授
すぎたに まさつぐ
杉谷 正次 さん



【プロフィール】

1958年生まれ。東邦学園短期大学助教授を経て、2001年4月より現職。専門はスポーツビジネス。著書に『ドイツにおけるスポーツクラブのマーケティング』監訳（三恵社）、『ニュースポーツの面白さと楽しみ方へのチャレンジ』共著（唯学書房）、『超高齢社会における認知症予防と運動習慣への挑戦』共著（唯学書房）、『現代スポーツビジネス』編著（三恵社）、論文に「スポーツ・ツーリズムの可能性を探る—国際リゾートをめざす北海道ニセコ地域の事例から—」など。

スポーツ・ツーリズムの可能性を探る

北海道幕別町（パークゴルフ発祥の地）の大会から

注目される

「スポーツ・ツーリズム」

はじめまして、私は、6月に開催されました「北海道知事杯第26回パークゴルフ国際大会」の視察をさせていただきました。現在、「スポーツ・ツーリズム」というテーマで研究をしております大学教授です。

さて、みなさんは、「スポーツ・ツーリズム」という言葉をご存知ですか。おそらく、ほとんどの方は、この言葉を初めて目にされたのではないのでしょうか。スポーツ・ツーリズムとは、例えば、市民マラソンへの参加（するスポーツ）、プロ野球の観戦（観るスポーツ）、プロゴルフ大会の運営ボランティア（支えるスポーツ）など、スポーツとのかかわりを観光資源としてとらえ、国内観光の振興や訪日外国人の増加につなげようとする新しい観光ビジネスのことです。ご存知のように、日本は資源の少ない国です

から、これからの日本経済を発展させていくためには、観光産業を成長させることが必要とされています。そのため、こうした「スポーツ」と「観光」を融合させたスポーツ・ツーリズムが、最近注目されるようになってきたのです。

研究対象として

「パークゴルフ」に着目

そこで、私たち研究グループ（石川幸生教授：専門は生涯スポーツ、青木葵教授：専門はスポーツマネジメント、いずれも本学の教員）は、実施人口、競技人口、登録人口が着実に増加している「するスポーツ」としてのパークゴルフに着目しました。そして、本研究グループは、パークゴルフによるスポーツ・ツーリズムの可能性を探るため、北海道幕別町（パークゴルフ発祥の地）で開催される「北海道知事杯第26回パークゴルフ国際大会」について、調査を行なうことになった次第です。

「スポーツ・ツーリズム」

スポーツ観光すなわちスポーツ資源を最大限に活用し、インバウンド（海外から日本へ）拡大及び国内観光振興することを目的に、国の施策（管轄：国土交通省観光庁）として推進すべきものと位置付けられている。平成23年6月には「スポーツ・ツーリズム推進基本方針」が打ち出され、平成24年4月「一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構（JSTA：ジャスタ）」が設立された。



視察に訪れた第26回パークゴルフ国際大会

ところで、ツーリズムを成功させるためには、いったい何が重要だと考えますか。それは、まず再訪者いわゆるリピーターを増やすことです。一般的に、スポーツ・ツーリズムは、スポーツが持つ周期性によって、再訪者の集客効果が期待できるといわれています。言いかえれば、パークゴルフでいいますと、一度プレーしたコースや大会に、またこのコースでプレーしてみたい、来年もこの大会に参加してみたいといったような感動や欲求を参加者に与えることができれば、再訪者の集客効果が期待できるということです。その感動や欲求を与えるためには、特別な大会、すばらしいコース、温泉、美味しい食事といったような観光資源をアピールすることはもちろんのこと、ホスピタリティー（おもてなし）も大切です。

パークゴルフが成功への条件になりうるか

この点でいいますと、今回視察をさせていただきました大会は、パークゴルフ協会、地元自治体、観光協会等の連携がなされており、マネジメント、ホスピタリティーもしっかりしたすばらしい大会でありました。また、幕別町は、パークゴルフ発祥の地ということもあって、隣にはすばらしいコースが多数あり、さらに温泉や観光名所といった観光資源にもめぐまれていますから、スポーツ・ツ

ーリズムを成功させる条件がほとんど整っているといえるでしょう。以上のことを総合的に考えますと、例えば、幕別町で「パークゴルフ発祥地大会」といった特別な大会として開催するのであれば、スポーツ・ツーリズムの可能性はじゆうぶんあると思われるます。



歓談する前原会長（左）と視察に訪れた杉谷さんら関係者

最後に、今回の調査において、快くインタビューに応じていただきました日本パークゴルフ協会会長前原懿様、また当日の運営でお忙しい中ご丁寧に対応いただきました事務局長山田均様、事務局次長堂前芳昭様、大変お世話になりました。貴協会のますますのご発展をお祈りし、いつの日にかまたお会いできることを楽しみにしております。

パークゴルフの効果

当協会ホームページより

『ルールはいたってシンプル、子供からお年寄りまで誰もが身近なスポーツとして、手軽に気軽に出る三世代スポーツとして、人気を集める一方、意外なところで評価されています。学校内にパークゴルフコースがつくられ、学校のレクリエーションに親子で又生徒と地域の人々のコミュニケーションの場として役立っています。又、病院では専用コースを作り、リハビリとしてパークゴルフが役立てられています。』

今、人生をより健康で心豊かなライフスタイルをつくる「生涯スポーツ」として、パークゴルフ人気はナイスショットの連発です。

地域の活性化や医療福祉分野への貢献など、パークゴルフの多様な可能性が、今注目を集めています。』

